

(仮訳)
2021年6月2日

LIBORからの円滑かつタイムリーな移行に関するステートメント

金融安定理事会（FSB）は、LIBORからの円滑かつタイムリーな移行を促進することの重要性を議論してきた。

全てのパネル LIBOR の公表停止に向けた明確なタイムラインが確立された。これらの金利指標及び派生指標の全ての新規利用については、実務上可能な限り速やかに、遅くとも関連する通貨の母国当局及び（又は）検討体が定めたタイムラインまでに、停止すべきである。

特に、より頻繁に利用されている、一部の米ドル建てパネル LIBOR¹が 2023 年半ばまで存続するという発表の後、2020 年 11 月と 2021 年 3 月²に米国の銀行監督当局により発出されたガイダンスを、FSB は完全に支持する。2023 年半ばという期限は、米ドル建て LIBOR を参照する既存契約のほとんどが満期を迎えることを可能にするが、「…2021 年 12 月 31 日以降に米ドル建て LIBOR を参照金利として利用する新規契約を締結することは、安全性及び健全性に対するリスクを発生させることになる…」として、企業に対し、秩序ある移行を支持するための限られた例外的利用を除き、「実務上可能な限り速やかに、いかなる場合でも 2021 年 12 月 31 日までに、米ドル建て LIBOR を参照金利として利用する新規契約の締結を停止すること³」を推奨している。

FSB はこれまで、国際金融市場が LIBOR に依存し続けることは、グローバルな金融の安定性に明らかなリスクをもたらすことを指摘してきた。米ドル建て LIBOR が世界中で頻繁に利用されていることを踏まえ、FSB は、米国の監督当局からのメッセージとタイムラインをグローバルな規模で強化することが特に重要であ

¹ 翌日物、1 か月物、3 か月物、6 か月物、12 か月物の米ドル建てパネル LIBOR は、2023 年 6 月 30 日に公表停止する。

² 米国連邦準備制度理事会「[Statement on LIBOR Transition](#)」（2020 年）、「[Assessing Supervised Institutions' Plans to Transition Away from the Use of the LIBOR](#)」（2021 年）

³ ガイダンスは、例えば、2022 年 1 月 1 日より前に契約した銀行や銀行顧客のエクスポージャーの削減やヘッジのための取引といった限定的な状況において、銀行が 2021 年 12 月 31 日より後も新規契約に米ドル建て LIBOR を参照することが適当な場合もあり得ると認識している。

ると考えている。したがって、FSB は、米ドル建て LIBOR の継続的な利用に伴う安全性と健全性に対するリスクの観点から、グローバルな市場の全ての参加者に対し、米ドル建て LIBOR 参照取引の新規利用を、実務上可能な限り速やかに、遅くとも 2021 年末までに、停止するよう推奨する。

さらに、FSB メンバーは、この目的を支援するため、適切な場合には、自らの法域にある規制対象企業に対してこれらの期待を繰り返し表明し、また、円滑な移行を促進するため、全ての LIBOR 通貨の母国当局が採用する対応を引き続き支援していく。